

羽咋市 支援物資 お渡し会 大盛況



↑開始予定 30 分前からできた大行列

↓1 時間の予定が 25 分で品物が無くなった→

がんばろう!能登 無料 支援物資 お渡し会

☑4月13日(土) 午前11時~12時
☑ユーフォリア千里浜のレストラン
羽咋市千里浜町タ1番地67 ☎0767-22-9000

こんにちは。私たちは能登半島地震被災者共同支援センターです。いくつかの団体が集まり、羽咋市を拠点に支援のボランティアをしています。

このほど、ユーフォリア千里浜さんの協力をいただき、全国から集まった支援物資を、被災者の皆さんにお渡しする無料の譲渡会を開催します。

お米、レトルト・缶詰・カップ麺などの保存食品やお茶・ジュース類、ラップ・洗剤はじめとした台所用用品・紙おむつなど衛生用品や生活雑貨や新品衣料品などご希望に沿ったものをお持ち帰りいただけます。

また、お困りごとの相談も、承ります。

全国からの気持です。ご遠慮はいたしません。お気軽にご参加ください。



能登半島地震被災者
共同支援センター

羽咋市石野町ト13-1
☎0767-23-5108

「不安で不安で」、「なるべくお金を使わない暮らしです」

4月13日(土)午前、当支援センターは地元羽咋市で支援物資お渡し会を行い、予想を上回る被災者の方が訪れました。

当初は温泉施設「ユーフォリア千里浜」の駐車場での「青空」開催を計画。北川真知子前市議が相談に施設を訪れると、支配人が「施設内のレストランを使ったら」と逆提案。施設の全面協力での開催になりました。

スタッフが「見なし仮設住宅」になっているアパートなどに告知チラシを配ってからたった中1日でしたが、来場予測を上回る100世帯を超える方々が詰めかけました。1時間の開催予定でしたが、用意した物資が25分でなくなる盛況ぶり。コメも慌てて事務所から追加で取り寄せました。

金沢市議団の聞き取りに、「支援金がまだ振り込まれません」、「医療費無料が9月まで延長?…知らなかった」、「先が見えない。不安で不安で。こういう取り組みは助かります」、「仕事も失い、なるべくお金をかけない暮らしです」など、多くの方が訴えます。

その後、会場で手渡した支援センター紹介のチラシを手に、さらなる物資を求めてセンターを直接訪れる方々も50名を超え、備蓄生活用品などほとんど無くなってしまいました。

「やって良かった」、「被災者の方の現実が分かって自分にもやれることがまだまだあると…」~スタッフも、被災者の方に、逆に元気をもらった一日になりました。

支援物資 緊急募集

支援物資 SOS です

//昨日のお届け会で支援物資を一気放出。数日後のお届け予定物資が枯渇//



嬉しい悲鳴！

前面記事のように当支援センターに一気に被災者の方が訪れ、備蓄物資が不足状態に。野菜は文字通りスッカラカン。

多くの被災者の方のお役に立てていること、当センターの認知度もあがったことなど嬉しいことだらけです。一方、先の支援に向けては不安が高まっています。来週は沢山のボランティアさんが来る予定で、その行動時に活用する物資が、このままでは足りません。

あらためてお願いします。

まだ水も通っていない半島の先端部、仮設住宅の入居がはじまった中能登地域など、復興の状況は多様化がすすみ、必要なものも多様です。水、コメ、生鮮野菜、洗剤をはじめとする生活用品、衛生用品、衣類(夏物で新品かクリーニング済)、下着類(新品のみ)はじめ、何でも構いません。急募！です。ぜひ全国からお寄せ下さい。

今、ボランティア保険は個人でも加入可能です。



いま、ボランティア保険が個人でも加入できるようになっています(以前は団体加盟のみ)。左のQRコードをスマホで読み込み、「全社協 被災地支援・災害ボランティア情報」画面を表示。その一番下のボタンを押すところから始めます。

期間は、その年度内。「基本プラン」(350円)か「天災・地震補償プラン」(500円)を選べますが、当センターでは地震被災地での活動なので「天災・地震補償プラン」をお勧めしています。

ボランティア希望の方は、ぜひ、加入してから参加してください。